

読んで得するかわら版

第2号 発行日：平成16年4月15日
 〒569-0054 大阪府高槻市若松町8-10
 URL：http://www.capitalpaint.jp/

発行：キャピタルペイント株式会社
 TEL：072-672-7330(代) FAX：072-672-7336
 E-mail：capital1@sirius.ocn.ne.jp

クリヤータイプの水性難燃塗料が更なる快挙！

モーエンアクア 不燃材料大臣認定を取得

水性難燃塗料として発売され好評を博している「モーエンアクア」が平成16年2月、国土交通省の定める防火材料として「不燃材料」の大臣認定を取得した。(認定番号NM-0700)
 これにより、建築基準法にて定められた「内装制限のある個所」等へ使用することが可能となった。不燃材料・準不燃材料の基材上へ塗布しても「基材同等」とみなされる為、全く法制上の問題は無く、塗装による質感の向上が付与できるのは間違いない。

建築基準法では「防火材料」として「不燃材料・準不燃材料・難燃材料」の3種を定めており、い

ずれにおいても、通常の火災による加熱が加えられた場合に「燃焼しないこと、防火上有害な変形・溶融・亀裂その他の損傷を生じない事、避難上有害な煙・ガスを発生しない事」と要求性能を明確化している。不燃材料に関しては、コンクリート・レンガ等元来不燃性であるとして予め定められているものを除いて、不燃性試験又は発熱性試験に加え、ガス有害性試験に合格しなければならない厳格な規定がある。試験時間の長短が「不燃材料・準不燃材料・難燃材料」評価試験の差なのであるが、「不燃材料」試験が最も厳しい長時間の試験である事は言うまでも無い。

建築基準法が定める「防火材料」の規定について

材料名	試験条件
不燃材料	不燃性試験または発熱性試験 + ガス有害性試験 / 試験時間 20分間
準不燃材料	発熱性試験または模型箱試験 + ガス有害性試験 / 試験時間 10分間
難燃材料	発熱性試験または模型箱試験 + ガス有害性試験 / 試験時間 5分間

既に「モーエンアクア」は、建築基準法シックハウス対策に対応すべく、ホルムアルデヒド放散等級「F」を取得し、居室内装仕上げ用

塗料として適応力の高さを示しており、このたびの「不燃材料」認定によって、より一層と活用の幅が広がったと言える。

「F」を取得した キャピタルペイント建築汎用塗料

ワンダー水性一液型各色

(一液型水性着色塗料・木部内部用)
 ・環境に優しいE1マーク認定塗料(00033001号)
 ・国土交通省公示難燃1級試験合格品

ワンダー水性一液型ウッドガード各色

(一液型水性木材保護着色塗料・木部外部用)
 ・油性塗料のようなイヤな臭いが無く防カビ防虫防蟻効果を発揮
 ・国土交通省公示難燃1級試験合格品

フレッシュアクアF

(一液型水性クリア塗料・木部内部用)
 ・水性の速乾タイプで翌日には歩行ができ、塗膜硬度は鉛筆硬度で2Hになる
 ・熱いお湯や醤油、ソースなどをこぼしても「シ

ミ」にならない高性能な塗膜

モーエン2

(二液型ウレタン難燃仕上げ塗料・木部内部用)
 ・家具調に仕上げられる溶剤系ウレタン難燃塗料
 ・国土交通省公示難燃2級試験合格品

NA-6 オリオ2

(二液型ウレタンオイルフィニッシュ・木部内部用)
 ・溶剤系だが、自然系オイルのように酸化重合によるアルデヒド類発生することが無いウレタン反応タイプ

モーエンアクア

(一液型水性難燃塗料・木部内部用)
 ・国土交通省公示難燃1級試験合格品
 ・国土交通省公示防火材料不燃材料大臣認定品 (認定番号NM-0700)

「VOC排出抑制が法制化へ」

環境省は、光化学オキシダントや浮遊粒子の原因の1つであるVOC（揮発性有機化合物）の排出抑制を目的とした法制化へ向けて、計5回にわたる検討会を開催した。調査によると、平成12年度の日本国内における総VOC排出量は、約185万トンであり、内訳は「自動車等の移動発生源＝約1割、工場等の固定発生源＝約9割」としている。先立って自動車排気ガス規制がすすめられているなか、排出の大部分を占める工場等への規制をおろそかに出来ないのは当然のことでもある。

現時点では、今年5、6月頃に法案が成立し、平成18年6月頃施行の見通しであり、削減目標は平成22年度までに「平成12年度のVOC排出量から3割程度削減」としている。科学的算定では、これにより浮遊粒子物質及び光化学オキシダント注意報による大気汚染は、相当改善できると見込んでいる。規制の対象となる事業所の条件は未だ決定はしていないが、先に施行されたPRT法と同様に従業員数・VOC排出量の多い大規模な施設が対象となり、VOC排出量の測定方

法は排出口における排出濃度測定が適用される見通しである。また、規制対象外となる事業所においても、業界団体の作成する自主的取り組みを遵守する事を推進しており、法規制プラス自主的取り組みの相乗的な効果を発揮させる事が必要としている。今後の課題としては、中小企業を含めた幅広い事業所が自主的にVOC排出規制に取り組む為に、低価格帯の小型VOC処理装置の開発を推進すると共に、低VOCの塗料・インキ・接着剤の開発を促進する事が必要とし、これら低VOC塗料への転換による品質への影響を、消費者である国民に深く理解をさせる普及啓発が重要と挙げられている。

キャピタルペイントでは、数年前よりこのようなVOC規制に近い将来に必ずおこなわれると予見して、「低VOC・ノンVOC塗料」の代表とも言える「水性塗料」の開発・販売に着手してきた。その結果「ワンダー水性一液型・フレッシュアクアF・モーエンアクア」等、高品質な水性塗料をいち早く市場に広め、好評を博している。

～ キャピタルペイント建築汎用塗料 施工実績 ～

施工塗料	物件名	施工部位	施工年月
ワンダー水性一液型白木色	大阪府 よしもと笑店街	内装木部	平成16年1月
ワンダー水性一液型ウッドガード	京都府 京都御苑管理事務所	外装木部	平成15年3月
ワンダー水性一液型ウッドガード	石川県 輪島工芸長屋	外装木部	平成15年2月
フレッシュアクアF	宮城県 明泉学園幼稚園	教室床	平成16年1月
フレッシュアクアF	大阪府 新北島小学校	教室床	平成15年8月
フレッシュアクアF	大阪府 曙川東小学校	教室床	平成15年8月
モーエン2	栃木県 林業センター試験棟	内装木部	平成15年8月
NA-6 オリオ2	北海道 六歌亭	店舗床	平成16年2月
NA-6 オリオ2	東京都 F邸	室内床	平成15年11月
NA-6 オリオ2	東京都 泉岳寺義士記念館	館内床	平成14年11月
モーエンアクア	大分県 西浦小学校	内装木部	平成15年10月
モーエンアクア	埼玉県 いるま幼稚園	内装木部	平成16年4月
モーエンアクア	栃木県 ホテルデルソル	店舗内装木部	平成16年3月

「四恩」

第2号の目玉記事であります「モーエンアクア」の不燃材料大臣認定取得に、予想以上の期間がかかってしまい、第1号発刊より約半年間も発刊が空いてしまった事をお詫び致します。第1号の発送件数はお蔭様で約300件にのぼり、概ね好評を博している様子を嬉しく存じております。

皆様のご期待にお応え出来るよう、改めて尽力する所存でございます。上記記事の通り、いよいよ本格的なVOC対策が必要となってきました。この第2号作成中にも新たな情報が次々と届いており、今後どのような内容に確定するのか注意が必要であります。